

サヤ=Sa マミ=Ma ミトキ=Mi Ha=藤田晴彦さん

Sa 高縄山のてっぺん! やつと着いたあ。高いなあ!

Ma 眺め、すごつ。

Mi 景色キレイやけど、到着するまでに酔うわ……。

Sa 山道険しかったし、カーブきつかったもんね。

Ma でも、途中で河野川の源泉見れたし、イノシシとか出てきそうやったし。

Ma 高縄山って標高が986mで、山頂付近はブナの原生林。動植物にとって快適な環境が保たれてるけん、リス、イノシシ、タヌキ・ニホンジカとかが暮らしているらしいよ。

Mi 確かに山頂付近の木ってふもとの木と全然違ったよね?

Sa ねえねえ、今治どっちやっけ?

Mi わからんし。てか海の向こうに見えるん広島みたいよ。

Ma 遠くまで見えるもんなんやね

Sa ここ戦国時代は城だったらしいよ。これだけ見渡せたら、どこから敵が攻めてきてもすぐわかるね。



Mi 風早って、中世の伊予を治めていた豪族河野一族の故郷なんやて。

Sa そうそう。善応寺っていうお寺があって……。

Mi そこは河野一族の氏寺としても有名ならしいよ。

Ma 地図を見ると、河野、って名前の川とか小学校とか、地名もあるね。

Sa 河野一族って、それだけ強い力もってたのかな。

Ma 高縄山で川の源、キレイやったよね。

Ha その水が地下水になって私たちの暮らしを支えているんだ。うまい酒もできるんだよ。

Ma 立派な酒蔵やねえ。

Ha ここが「坂の上の雲」っていうお酒を造っている桜うずまき酒造さんの酒蔵なんだ。

Mi すごいオシャレ!

Sa 週末しかオープンしてないんだけど。

Ha このコーヒーは高縄山から汲んできた湧き水を使ってるんよ。うまいでしょ。

Sa 海のすぐそばで眺めも最高つね。

Ma 船着き場のおじさん、15分くらいで展望台に着くって言いよったけど、道きつい。

Sa 高校のころまではよく歩いたけど、学生になった途端に運動不足やし。

Mi 後ちよとやと思うけど、本当に結構しんどいな。

Ma 2人とも運動不足やね。息あがってるぞ☆

Mi 展望台見えた!!

Sa うわあ、すごい。まわり全部海やあ。夕焼けがキレイ。

Ma だって島やもん(笑)

Sa ウチは老後北条に住むことがウチの中で決めた。

Mi え!? 都会行くんじゃなかったん?

Sa 都会に出て、帰って来る!!

Ma はいはい。

特別ゲスト☆藤田晴彦さん
松山大学出身のラジオパーソナリティ。一昨年から住まいを構え、風早ライブを満喫。お気に入りのスポットを案内してもらった。

Ma 松山大学時代に「コークス」っていうバンドを結成して、全国大会で優勝した人なんだって☆

Sa それは凄いな!! でもそんな人がなんで都会じゃなくて風早地区に建てたん?

Mi それだけここがいいってことやない!?

Ha その通り!! 都会で生活するのが便利やし、確かに華やかさはあるよね。けど、ここは魚がウマイ。水がウマイ。空気がウマイ。生きていくうえでかけがえない資源があふれているし、普段仕事に通っている松山市内まで車や電車で30分。東京まで飛行機で1時間半だから、全然不便じゃないんだ。

Sa へえ〜。アタシは都会に慣れるけどなあ。

Mi 私は愛媛がいい。

Ma Mi Sa
うわっ!! 船の上に乗るのやん?
やめて置物やん?
なんで鹿の置物なん?

おしゃべり絵日記

風早編

まつやま新聞

●発行 [坂の上の雲ミュージアム]指定管理者 四電ビジネス株式会社
松山市一番町3丁目20番地
☎089-915-2600

●編集 NPO法人地域共創研究所 NORA
(代表 石浜 典夫)
松山大学「人間関係とキャリア形成」講座受講生
坂の上の雲ミュージアム
●協力 セキ株式会社
●制作 セキ株式会社
●発行部数 30,000部
松山市内の市有施設(一部を除く)ほか、坂の上の雲ミュージアム、ローウェイ観音、道後温泉観光案内所ほか観光拠点で無料配布

松山市民による松山市民のためのまちづくりフリーペーパー

取材・文/高橋佐弥・石浜美都希・芳本真美
イラスト/岡田未沙

●新緑ウオーク
5月3日(土) JR松山駅に8時30分集合
石手寺から道後、護国神社を経由して姫原の軽乃神社まで、自然や歴史を味わいながら約10kmを歩く。参加費:1000円(保険代、各自弁当持参)。

●伊予山の辺のみちを歩く(1)会
0506) 0731-22000

●坂の上の雲ミュージアム
1周年イベント
4月28日(月)〜5月6日(火) 竹下景子さんを迎えて「坂の上の雲」のりり朗読クイズラリー、特産品のおもてなしなど

●坂の上の雲ミュージアム
0506) 015-26000

●「坂の上の雲」1000人のメッセージ展
4月1日(火)〜翌年3月「坂の上の雲」を通じて得たメッセージをもとに公募された作品展。安野光雄、智内兄助、荒木経惟など司馬遼太郎ゆかりの文化人やアーティストの招待作品約50展も圧巻。

●伊予弁で語る愛媛の昔話や民話を聞く
お伽座定期公演 毎月第1、3土曜14時〜19時、青春亭お伽座サロン
松山城定期公演 毎月第2、4土曜
同会は09年にお伽座の語り部出版(800円)。創作を含め39話が収録されつづ。

●青春亭お伽座
0506) 045-40888

●第2回大師参りウォーキングIN睦月
睦月島の自然や文化を体験
4月12日(日)

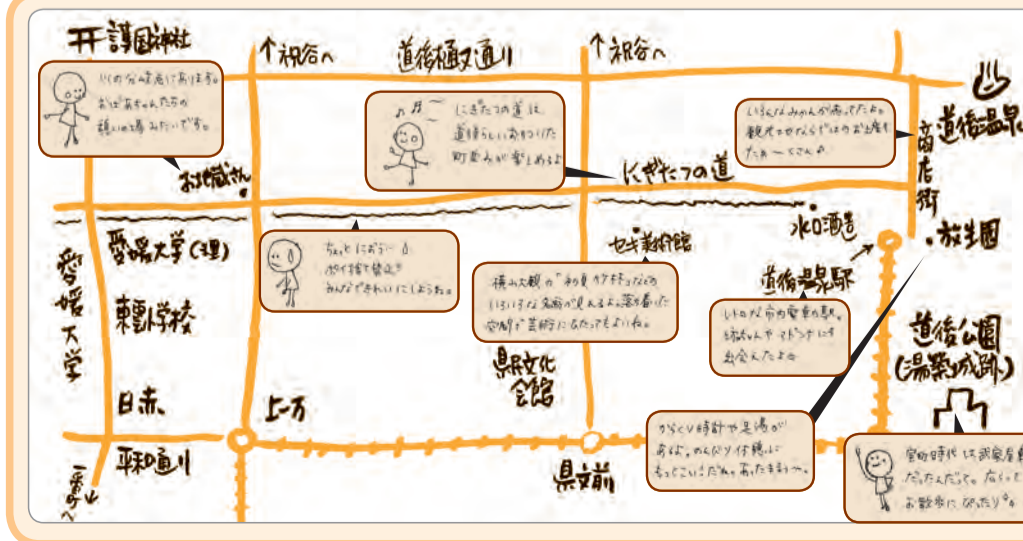
●松山離島振興協会
airando-matsuyama@hyhm.ocn.ne.jp

●旧道後宿本屋
0506) 0606-0664 坂本公民館

●お接待&里山散歩
旧三坂街道沿いにある明治時代築の古民家。地元の方がお接待する。里山散歩や歩き道の拠点。
土・祝日10時〜15時

●伊予弁で語る愛媛の昔話や民話を聞く
お伽座定期公演 毎月第1、3土曜14時〜19時、青春亭お伽座サロン
松山城定期公演 毎月第2、4土曜
同会は09年にお伽座の語り部出版(800円)。創作を含め39話が収録されつづ。

●青春亭お伽座
0506) 045-40888



中国と韓国からの留学生を含む松山大学の学生約20人でお遍路さんをプチ体験。三坂峠から四国霊場第46番札所浄瑠璃寺までの約4.6kmと同寺から第51番札所石手寺まで約10kmの旧道道を踏破した。

沖繩出身である私がそのお遍路体験に参加しようと思ったのは、四国独特の文化であるお遍路を通して故郷の沖繩にはないような貴重な経験に出会えるチャンスだと思ったからだ。

沖繩では、道を歩いているとシーサーや、石蔵堂と呼ばれる厄よけの石をよく目にするが、それらと同じように、お遍路の道中では自然や、お地蔵さんや遍路墓などが何気なくそこにある。私にとっては、そのほとんどが新鮮で、歩を進めながら沖繩との自然や文化との違いを感じた。しかし、歩いていくうちに弘法大師を身近に感じ、心が洗われていく気がした。それは一緒に歩いたメンバーである韓国人のキムさんも同じだったよ。たよって、「仏様の距離が近づいていく気がして、新しい気持ちになれた」と話してくれた。歩き終えるころには、ともに歩いたメンバー全員が、疲れたが清々しい気持ちになった。

この長い道のりを歩くのには、四国や日本の人ばかりでなく、異なった文化に住む人も、同じ道を同じように歩くことで同じような想いを感じることができるのかもしれない。(取材・文:富田耕平)



「坂の上の雲ミュージアムで考えたこと」と館長。中世の湯築城と近世の松山城を拠点として結ぶことで、世界的にもユニークな歴史街道にもなるらしい。まずは湯築城から愛媛大学までを歩いてみた。コースの沿線に暮らす方々に尋ねてみる。と、「舗装された道を戻すのは反対」という声もあった。が、「きれいな水や緑を嫌う人間は少ない。ぜひ前向きに検討して欲しい」という若い人の声や「昔の松山のようになりたい」という年配者の声も意外に多かった。中々の水は飲めるほどに美味しさと、「坂の上の雲」には書かれていない。明治時代の松山の話を1986年生まれの私は古き良き松山の姿を知らないうちに、こんなまちに住むたりに幸せだろうなと思った。(橋本孝貞)

「松山在住の留学生が」
プチ遍路で国際交流
「坂の上の雲ミュージアムで考えたこと」
水と緑のまち「松山」に(1)

